

小学校第五学年 国語 「感想を伝えよう」

○ 正答例

一

イ

詩の言葉を引用しながら構成のよさと作者の気持ちを書いている。
読む相手に対して、具体的に何がよかったのか分かりやすいと考
えたから。(六十四字)

○ この問題で身につけてほしい力

○ 作品のよさや、友だちの感想のよさをとらえながら読む力。

○ 考え方

一 【友だちの感想】

の特^{とく}徴^{ちよう}を読み取ります。

アは、詩の構成に注目しています。

ウは、詩を読んで感じたことをそのまま伝えていきます。

エは、詩を読んで自分の生活をふり返っています。

これらに対して、イは次のような特徴があります。

- ・ 詩から引用している。
- ・ 詩の構成に注目している。
- ・ 作者の気持ちを想像している。

引用しながら感想を書くとき、「どこがよかったか」「どんなところが
よかったか」がはっきりします。相手に伝わりやすい感想になるので
す。

そこで、正答例は、次のように示しました。

○ 感想の特徴（根拠）

詩の言葉を引用しながら構成のよさと作者の気持ちを書いている。

○ 選んだ理由

読む相手に対して、具体的に何がよかったのか分かりやすいと考
えたから。

相手に伝えることを意識して書く感想は、中学校で学
習する「批評する」ことにつながっていきます。

「批評する」とは、物事のよいところ、よいといえな
いところを、理由づけをしながら判断し、その
価値を書いたり話したりする活動です。

次の文は、阿部さんの詩につけられた、批評
です。(短いので「寸評」「短評」といいます。)

相手に伝えることを意識した感想と、共通
する内容に気がつきませんか。

家族の姿をじつと見つめる。いつでもできそうですが、だから
こそ、普段はあまりやらないことです。夏実さんのまなざしは、
おじいさんの外見の特徴をひとつひとつ丁寧にとらえています。
しかし、それ以上におじいさんの心の温かさを見つめているので
すね。夏実さんとおじいさんの心のつながりが、直接は描かれて
いなくてもしっかりと伝わってきます。
これからも、家族の姿を温かく見つめる夏実さんでいてください。

